

第7回 滝沢市地域公共交通会議

議事録

日時：平成29年6月30日（金） 午前10:00～11:40

場所：滝沢市役所 201・202 会議室

出席者(20名)：佐野峯茂（代理 三上 喜美義 滝沢市都市整備部長）、山下剛毅（岩手県交通㈱）、三上金昭（代理 荒屋敷 正剛 岩手県北自動車㈱）、伊藤純（公益社団法人岩手県バス協会）、佐藤利樹（一般社団法人岩手県タクシー協会）、漆田祐悦（ジェイアールバス東北㈱）、山口実（岩手県交通運輸産業労働組合協議会）、川村尚雄（滝沢市自治会連合会）、歳弘淳（滝沢市老人クラブ連合会）、上野幸子（滝沢市男女共同参画サポーターの会）、佐藤光保（社）滝沢市社会福祉協議会）、伊藤誠（国土交通省東北運輸局岩手運輸支局）、佐藤雅和（国土交通省東北運輸局岩手運輸支局）、早坂寛（岩手県盛岡広域振興局経営企画部）、青木崇（岩手県盛岡西警察署）、酒井裕二（東日本旅客鉄道㈱盛岡支社）、佐々木博樹（国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所）、菊地信輝（岩手県盛岡広域振興局土木部）、太田城人（滝沢市都市整備部）、宇佐美誠史（岩手県立大学総合政策学部）

事務局：大宮都市政策課長、赤迫総括主査、佐藤主任主査、上平主任

○配布資料

滝沢市地域公共交通網形成計画（素案）【概要版】

滝沢市地域公共交通網形成計画（素案）資料1

計画策定スケジュール 資料2

滝沢市公共交通マップ



- 1、開会
- 2、委嘱状交付
- 3、議事

(1) 滝沢市地域公共交通網形成計画（素案）について

宇佐美会長： それでは皆さんよろしく申し上げます。

今日はまず過年度から進めておりました網形成計画のかなり最終段階です。今日ご審議頂いて、パブリックコメント、それで完成に持って行きたいと思っております。新しい方もたくさんいらっしゃいますけど、素朴な疑問をお持ちになったところはどんどん出して頂ければいいなと思っております。今日も忌憚のないご意見をどんどんよろしく申し上げます。

それでは次第に沿って進めたいと思います。「滝沢市地域公共交通も形成計画（素案）」について、事務局からご説明申し上げます。

事務局： ～「滝沢市地域公共交通網形成計画（素案）【概要版】」P1-3 説明～

宇佐美会長： ありがとうございます。この後具体的な施策が出てきますが、新しい委員の方々については、これまで課題が考えられてきた目標設定があって、将来イメージがというところの流れをご確認頂いたり、今までの方は修正点等をご確認頂いたりして、何か疑問に思った所など、ご意見ご質問頂ければと思います。いかがでしょうか。

とりあえずまた何か出てきましたら、ご意見頂ければと思います。では具体的な部分をお願いします。

事務局： ～「滝沢市地域公共交通網形成計画【概要版】」P4-7 説明～

宇佐美会長： それでは、施策 1～4 とあったので、一つずつご質問ご意見等聞いていこうと思います。最初は概要版P4の「公共交通の利便性向上プロジェクト」に関して何かございますか。

上がバスの話だとしたら下がタクシーの話になっていて、協議を経てこのようになってきたという形ですが、何かありますでしょうか。

委員： 前回のお示し頂いた表現等を修正頂いた中で、前回も少し話をしましたが、ダイヤ編成については出発地がそれぞれ違うのなかで幹線道路に合流して競合している部分もありますので特に朝の時間帯ですと通勤通学と言うことで各方面大体同じ時間から来るので路線によってはなかなかバランスを掴むというのが難しい部分がありますけども、そういった中でも可能な範囲で効率よく時間の設定の検討の余地があると思いますので、ここについては今後関係者様と協議できれば良いのかなと考えてございます。

あと弊社に関わる部分ということで、元村地区から市役所方面の路線ということで、確かに路線はすぐ近くにちょっと寄れば市役所やビッグルーフを経由してということになりますので、こちらについても前向きな検討はやっていきたいと思っております。あとご指摘頂いた部分、あとの表示関係の部分に関しましても、確かに「市役所行き」「営業所行き」となると見間違えるというのはあるのかなと思います。どうしても路線のダイヤ、経路がありますが、

利用者にしてみると表示に関して見やすい・見にくいというのがありますので、こちらについても利用者目線に立った表示の仕方・見せ方を併せて検討して参りたいと思います。

委員：今お話のありました 1-1 につきましては、基本的な考え方は先ほどの委員の方と変わりございません。ある程度需要に合わせた供給という形になってきますので、需要が高いところにはある程度供給を多く持っていくということで、朝と夕方は過密になって、日中は若干少なくするというのが基本的な組み方でございます。その中で、対応できる部分、ある程度それを踏まえながら等間隔にした方が利便性が向上するという部分については十分対応できるかなと思っております。

あとはこの部分と、先程もありましたけれど施策 3 にも係ってくると思えますけど、ここだけを見るといいようには見えますが、どうしても今日は滝沢市さんの網形成計画の話にはなってきますけども、どうしても移動というのは滝沢市さんの市域に留まるものではなくて、特に盛岡の方への二市をかけた移動というのは非常に多い地区でございますし、また、北の方に行っても旧玉山、盛岡市さんですし、西に行くと雫石さんと、市域だけで考えてできるものではないので、今後検討される、盛岡市さんとの計画のリンクや、県の方である程度広域の網形成に手を付けたいという意向もあるようなので、そこもリンクさせながら双方でいい形に持っていけるようなスキームを取って頂ければ上手く行くのではないかと思います。

宇佐美会長：広域的な面というところで何かお考えありましたらお願いします。

委員：まだ赴任して間もなくして全体的なものが頭の中にイメージできていないのですが、うちは路線的には 4 号線主体に広域的な役割をさせていただいておりますけれども、その中で私たちがどういう風にやれるのか、というのと、今おっしゃられた話を踏まえて、混合路線の部分、大学周辺を通る部分もありますので、そういう要望を今後どうしていくかというのを課題にしていきたいと思っております。

宇佐美会長：施策 1-1 というのは、大学にはどうしても時間割というものがあるので、学生が移動する時間といのがあるので苦しいところがありますが、大学の一教員としてみればパターンになっているとすごく動きやすくていいのですが。タクシー会社さんからはこれをご覧いただいでいかがでしょうか。

委員：ここの施策の 1-2 の方ですね、うちの方ではタクシーチケットをばんばん出して頂ければ大変助かります。どうしてもですね、福祉券となると身障者の方や高齢者の方だけに限られますけども、免許返納者も含めるとまたその分負担が多くなると思うんですけども、うちの方は大歓迎でございます。是非こうして頂ければということでお願いいたします。

宇佐美会長：今のところはどうしても自主的な取り組みということで頑張っていらっしゃるといふことで。

ここに関してはいかがでしょう。

- 委員：私は別の観点で細かいところのお話ですが、施策 1-2 の「①市内主要拠点を結ぶ地域内交通の検討」とありますが、日本語的に地域内交通を何することの検討なのか、ルートの検討なのか利便性の検討なのかもうちょっと言葉を入れた方が良いのではという個人的な感想です。
- それから全体的な話ですが、道路の整備というのは全くこの中では言葉が出てきません。市さんの計画ですので市道の整備、いわゆるハード面での整備ということで要望していく、または、バスの通りやすい交通、停留所の設置とかによって渋滞が起きないように道路設計とかもあると思いますが、そういうのも計画していくようなところがちょっと見当たらなかった気がするのですが、それについて何か考え方があったら教えてください。
- 委員：都市計画とかを連動するわけですから、これは道路の設計する計画というよりも、別なところにある計画と連動してということなので、道路はたぶん他の何かの計画にあると思うので、あえてここではソフトというか、道路の上を走っているものをこうしたいという形で作っていますので。道路については、こうして欲しいというのはたぶんあるとは思いますが、それは別の計画でやっていると思うので、これにはないです。
- 宇佐美会長：こういうものに出てきたことを推進するのに当たって、何かその部分があったらいいというふうになると、今日も道路関係の方々は出てきてまして、たぶんそういうところで考えを共有して道路側の行政でやって頂けるといいなというためにこの会議に出ていらっしゃると思うので。ハード系のことは出てくる場合もあるのでしょうかけれども、この計画にはあまり入ってこないですね。
- 事務局：先程委員がおっしゃったとおりなのですが、位置づけとしましては上位計画とか関連計画の中で、滝沢市の道路整備計画ということがありますし、逆に言うと、公共交通路線とかバス路線等走っているところは、ほぼ幹線道路になりますので、道路整備計画の中で位置づけているということで、細かい中身についてはそちらの方で整備していくということになっていますので、具体的に書いているということではなくて、先程の関連計画として道路整備計画はあるという表現はさせて頂いております。
- 本編の素案のP2 をご覧頂きたいのですが、計画の位置づけとしまして、上位計画に「第 1 次滝沢市総合計画」がありまして、これと関連計画、右側の箱の「滝沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」だとか「滝沢市都市計画マスタープラン」といった中に、4 つ目に「滝沢市の道路整備計画」ということで、前段でこれと関連づけています。
- 先程ご意見がありました、施策 1-2 の表現については、もうちょっと分かりやすいように文言を、ちょっと概要版で文字を省略しているのもあるのですが、もうちょっと分かりやすい表現に修正したいとは思っています。
- 宇佐美会長：それでは次のページに行きまして、2 の「公共交通の認知度向上プロジェクト」についてご意見頂ければと思います。

特に市民の方々に、マップもできましたし、何かお感じになっていることがあればお願いします。マップが配られましたけど、何か話を聞かれたりしましたか。

委員： マップについては住民から問い合わせや感想等はないですね。

宇佐美会長： ご覧になっていかがでしたか。うちの学生なんかだと、聞くと入っていましたよと言うので認知度は非常に高いと思いましたが、周辺の方々はいかがでしょうか。

委員： ちょっと前に戻りますけど、施策 1-2 の「①市内主要拠点を結ぶ地域内交通の検討」なんですけど、市の中心地が鶴飼だとずっと前からなっていますが、実際に私滝沢駅前に住んでいて、ここに来るまでに大体 18km あります。で、私の自治会内の会員の方でこの市の中心に来るといのはほとんどが睦大学に来る方が多くて、市の関係の届け出事項の変更とか何とかは前の青少年ホームに事務所がありますから、そこで大体物事が済みます。こっちに来るのは自治会長で市に何か要望する時に来るというぐらいで、ほとんど来る用事はありません。ですからこれやるときにもう少し東部の 4 つの自治会内の住民のアンケートみたいなのを取ってですね、本当に具体的にこの①の検討が必要なのか、それをもう少し考えてみた方が良いのかもしれないね。

事務局： 当然あの使う住民の方のご意見も踏まえて検討していきたいと思います。先程も申しましたが、直通で結んだ路線が十数年前にありましたが、先程ご意見を頂いたように、ほとんど行く人がいないということで廃止した経緯もございますので、今のところは乗り継ぎを強化することによって多少ご不便はおかけしますが行ける環境にありますので、直通で結ぶ際には色んな方面から検討して、ただただ市が負担して乗らないバス路線を走らせても意味がありませんので、将来的に都市計画マスタープランでも、この周辺を中心市街地として活性化していくということで今後ここら辺は市街化区域の編入も含めて検討していくということで、まちづくりが進展すれば当然こちらに出かける需要も増えますので、そういったときには慎重に検討していきたいと思えます。

宇佐美会長： ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

(意見等なし)

では次に行きたいと思います。P6 の 3 の「公共交通の環境改善プロジェクト」ということで、先程もご意見出ましたけども、いかがでしょう。

(意見等なし)

それでは次、7p の 4 の「多様な主体と連携・協働プロジェクト」ということで、ここは我々の大学だったり皆さんの所だったりがかかなり関係してくるところかなと思いますけど、いかがでしょうか。

4-1 でよく思うのは基本的にはそこに住んでいる人達の意見をお伺いするというのはすごく大事なことですけども、何かをお願いするとかでは、色々な公共交通を見ていても上手く進んでいないところがあるので、自主的に自分

たちの地区を考えてどういう交通が望ましいだろうかというのを考え出しているところとかもすごく出てきていて、そういうところでいい事例なんかも出ているので、「②地域主体の公共交通維持に向けた取り組みの検討」の方をちょっとずつ取り組んでいけるといいなと思ってはいます。

委員： これもちょっと日本語の話になるんですが、「多様な主体と連携・協働」とありますが、基本的に1も2も含めて、いわゆる公共交通の意識醸成をどのように高めるかというのが目標だと思います。すると、4の表題が連携・協働がメインになっている表現になっているので、意識醸成のためというのが大きな命題でその中で4-1・4-2というふうに分けた方が用法的には良いのかなと思いました。

事務局： ちょっとこの表現は、日本語の話になるかもしれませんが、検討します。

宇佐美会長： 他にはいかがでしょう。

事務局： 補足しますと、2番目に「地域主体の公共交通維持に向けた取り組みの検討」として書かせて頂いたのが、アンケート調査をした結果、滝沢市民の公共交通に関する協力体制の意識というのが非常に高いという結果が出まして、全部が全部やるという話ではなくて、半分協力しても良いよとか、ちょっと協力して良いよという人の割合がかなり強くて、特に小岩井地区なんかは非常に高い数字で、他の市町村とも比べて全然高い数値と言うことで、こういったことができるのではということで進めています。

宇佐美会長： 小岩井の話は伺っていて、気になるところです。これから地域に入って行って、一緒にやってみたいなと思います。4-2の方で大学の話が入っているので、この辺は事務局さんと相談して、例えば後期で僕の1年生が10人くらいの授業があります。そういったところでマップの見直しだったりとか、あと今回マップは全域的なものとして作られているので、大学生向けのものを作ってみたりとかするのもいいかと思って、この辺り後期の授業でやってみて、もしかしたらこういう場でご紹介できたらいいなと思っています。

委員： 一つ戻りますが、施策3-2の「①交通弱者に対する交通施策の展開」で要望というかお願いになりますけれど、是非高齢者に対する施策をお考え頂けないかなと思います。免許返納者に対しての施策は比較的やりやすいのですが、どうしてもこの地域、まあ岩手県で完全に返してしまうというのはなかなか難しい。例えば週一回軽トラ乗るのに返せないというのがありますが、そうやってくると段々ギリギリ乗れるところまで自家用車に乗って、自家用車に乗れなくなると移動制約者になってしまうというような状況がこれから出てくると思います。まあそういうのがありまして、全国色んな所で高齢者の福祉施策という割引があって、その中で非常に効果が上がっているものは、実は財の方が大きいやり方があったりもします。当然受益者負担と自治体負担のバランスを取りながら高齢者をなるべく早く公共交通の方に転換させるような施策をとって頂ければ助かります。

あとは、特にうちのグループでやっているのですが、併せて2-2の乗り方教

室を、最近が高齢者向けがメインで展開したいところでございます。これも当然施策とセットとしてということでございます。そういう形でなるべく早い時期での転換を進めていって頂ければというのがバス事業者からのお願いです。

宇佐美会長：ありがとうございます。何かコメントされますか。

事務局：2-2 の①で「児童生徒等」と書きましたが、「等」に当たるかなと思いますが、高齢者の方も含めて乗り方に不安があると公共交通って、バス路線がどこを通っているのかもそうですけど、分からないところがありますので、次期通学層だけではなく、先程言ったように車から公共交通に転換してもらうようなことも考えますと、当然高齢者も対象にやっていかなければならないなと思しますので、是非「等」の中でやっていければと思います。

宇佐美会長：よく思うのは、子供を持つ親ですけど、車で色んな所に連れて行くとそれが当たり前になってしまって、そうするとその子供が大人になったら全然乗らなくて、親の方も車しか使っていないからバスに乗ること自体を全く想定しないということになって、それが結局いつまでも車にしがみつくとということになるので、選択肢を多く持てるようにという考え方がすごく大事だなと思っておりますので、児童・生徒だけでなく、親だったりその更に上だったりということも巻き込んで、一緒にお出かけをするとかそういったので乗り方教室ができたらいいなと思います。

ありがとうございます。どうでしょうか、施策の方全体通して何かございすでしょうか。よろしければ、次の目標の話をお願いします。

事務局：～「滝沢市地域公共交通網形成計画【概要版】」P8上段説明～

宇佐美会長：何かご意見等ありますでしょうか。

年度途中におけるモニタリングというのは、何か手段は考えていますか。

事務局：具体的にはまだ考えていません。

宇佐美会長：今どういう状況かというのはなるべく途中途中で追って行けるといいなと思います。

というところで、後はスケジュールの話に移ります。

事務局：～「滝沢市地域公共交通網形成計画【概要版】」P8下段説明～

宇佐美会長：ありがとうございました。というお話でしたけれども、いかがでしょうか。よろしいようなので、次に移ります。

(2) 計画策定スケジュールについて

事務局：～「計画策定スケジュール 資料2」説明～

宇佐美会長：ということでしたけれども、いかがでしょうか。

委員：スケジュールですが、パブリックコメントに出すのはいいのですが、今ここに集まっている委員の人で、意見が後で思いついたという場合は、何月何日を締め切りとして意見を言えばいいですか。

事務局：基本的にはパブコメへの意見が今の予定ですと7月10日から8月9日までを予定していますので、パブコメの期限までということでもよろしくお願

いたします。

宇佐美会長：ただ、根本的に覆すような意見は避けていただきたいとは思いますが、そうはいっても、本当にここはどうなんだという部分は良いと思います。よろしいでしょうか。それでは、議事が全て終了しましたということで、ご協力頂きましてありがとうございました。事務局にお返しします。

4、その他

事務局：宇佐美会長議事進行ありがとうございました。それでは次第の4「その他」に入らせて頂きます。皆様何かございますでしょうか。

委員：網計画とは直接関係ないので質疑応答では言いませんでした。現在のバス維持の状況みたいなものをせっかくの機会なのでお話ししたいと思いますし、また滝沢市は盛岡市の隣にありますので、極端に深刻な状況ではないので尚言いやすい部分があるのですが、現在国土交通省の方では2市町村に跨がるような長距離のバス路線について補助金を出していますが、ずっとここ数十年財務省の方から減らしなさいと言われ続けておりました。ただ、とりあえず頑張って現状維持で来たのですけども、最近色んな補助金については、減らしなさいと、減らせないと言うよりも、むしろ今はその路線どうやって生産性向上というか、要は人を乗せなさいとか、そういう努力をしているのかというのを報告してくださいという話になってきていまして、ただ維持しなさいというのではなくて、乗るためにどんな努力をしているのかを問われる段階に来ています。それで、もし住民の方が乗らないのに対して、バス残してくれ残してくれと言う場合、このまま進んでいくともう補助金はちょっと出しづらいなという形になってくると思いますし、要は大型のバスに1人か2人しか乗らないという状況は、やっぱりどう見ても無理があります。そうすると、それをずっと運行しているバス事業者の人達も今まで頑張っては来ていますが、限界が来ればもっと小さい相手、タクシーなのかもしれませんしジャンボタクシーなのかもしれませんしマイクロバスかもしれませんけども、要はあわせてそういうのに切り替える方向に検討してくださいという流れができてきています。

この辺ってなかなか分かりやすく言う機会がありませんし、新聞に載るわけでもないですけども、今はただ財源を確保してバスに補助金を出して維持する時代じゃなくなってきましたので、一応そういうことは頭に置いて、意見を出す時も、じゃあこういうことをしようとか、皆さんそういう形で意見を色々集めてもらって、その代わりに、乗るからここを走らせてくれと言ってくれば、市の方でも助かると思います。一応それだけ一言言いたかったので、これで終わります。

宇佐美会長　　ここ数日BSで北の鉄道の話が出ていました。以前北海道のローカルで放送されていたものを全国で放送していて、JR北海道は半分の路線が維持できない、じゃないと、JR北海道自体が潰れてしまうということで。それで、挙げられた路線の住民は当然なんでということになりますけど、そこに出てい

るコメントで、非常に残念なのは、JR 北海道はまだまだ経営努力ができるところにあるとか、北海道庁がもっと考えるべきだとかそういうことを言っていたりしますが、じゃあそもそもそこに住んでいる人達は何をしているのかというのは本当に感じるところで、なのでさっきの網形成の中に出るところでも、住民の人達の意見を聞くということだけではなくて、ちょっと進んでどうやって自分たちの地域の交通を考えていくかというところをやっているかといけないなと思って、こういうのが入ってきているわけです。

やっぱり、大型バスに 1 人しか乗っていないのはおかしいですね。そうすると補助金が入っているうちは良いという考えもありますが、それを運転している運転手さんもたぶん辛いと思います。やっぱり、人を安全に運んで気持ちよく仕事をしているというのもあると思うので、せっかくこういう計画を作るので、これから皆さんと一緒に新しい滝沢市の交通を考えて実際何かやっていければと思います。

事務局 ありがとうございます。その他に委員の皆様からございますか。特になければ事務局の方から。

事務局 : 皆様、大変活発なご審議ありがとうございました。事務局の方から 2 点ほどご紹介させていただきます。

まず 1 点目は滝沢中央スマートインターチェンジのパンフレットで、おかげさまで 6 月 24 日に着工式を行わせて頂きました。

～パンフレットにより滝沢中央スマートインターチェンジの概要を説明～
もう 1 点ございます。本編の P65 の施策 3-1 にもございますが、安心してバスや鉄道を待つことができる環境に向け云々でございます。ここで、現在市内の鉄道駅で駅前広場がないところは小岩井駅だけでございますけども、今般 JR さんの方にご検討していただき、来年度から整備に向けて着手することになっていきますので、皆様にここでご報告させていただきます。

6、閉会